

# 第60回 沖縄がん心のケア研究会

日時：平成27年4月18日（土）14：00～17：00

場所：那覇市立病院 3階講堂

対象：医療・介護・福祉・教育関係者

参加費：300円 参加申込不要

## 第1部：シンポジウム（14：00～15：30）

『沖縄がん心のケア研究会発足5周年を迎えて』

座長：阿波連 愛香 氏（絆ホームクリニック・訪問診療部 看護師  
/沖縄県がん患者連合会役員）

演者1：樋口 美智子 氏（那覇市立病院 MSW）

「“からだ・こころ・くらし”を支える  
ソーシャルワーカーになるために」

演者2：豊見山 喜美 氏

（カラー・アートセラピスト/アドラー心理学 勇気づけリーダー）

「そのとき子供は…」

演者3：栗山 登至 氏（嬉野が丘サマリヤ人病院 医師）

「最期まで生きるということ」

演者4：保坂 隆 氏（聖路加国際病院 精神腫瘍科 部長）

「“心のケアにも均てん化を”は、  
今はどうなっているのか？」

## 第2部：事例検討会（15：30～17：00）

「がんの親をもつ子どものサポート」

儀間 真由美 氏（北山病院 緩和ケア認定看護師）

## 沖縄がん心のケア研究会

### —多職種で行う参加・体験型グループスーパービジョン—

「沖縄がん心のケア研究会」は、がん治療にかかわる様々な者が、職種や立場を超えて、「がん患者・家族の心のケアの均てん化」を目的として行う参加・体験型の研究会です。

“心のケアの均てん化”とは、“いつでもどこでも誰でも、同じように心のケアが受けられる”ということです。研究会では、心のケアに関する専門的な視点からの意見や見識を学び、また実際の事例を毎回参加者が持ち寄り、職種や立場を超えて意見を述べ合い、検討しています。これにより、心のケアに必要なカウンセリングやコミュニケーション技術のスキルアップのみならず、ものの見方・考え方を広げて、がん患者の心のケアの均てん化の方法を模索していきます。

スーパーバイザーは、サイコオンコロジーの第一人者である聖路加国際病院精神腫瘍科部長の保坂隆先生です。

お問い合わせ先：[okinawa.kokoro.no.care@gmail.com](mailto:okinawa.kokoro.no.care@gmail.com)

<http://yuima-ru.umin.jp/>